

ヘルメットパスステッカー 試験導入について

今シーズンより、車検時の利便性向上および選手の装備品保護を目的として、ヘルメットの有効期限を確認済であることを示す「ヘルメットパスステッカー」を試行導入いたします。

■導入の目的



1. 車検時間の短縮

次戦以降、ステッカー貼付ヘルメットは有効期限の確認工程を簡略化します。



2. 装備品の保護

オフィシャルが装備品に触れる機会を最小限にし、落下等のリスクを低減します。

■運用方法（配布と貼付）

配布対象：公式車検にて、有効期限内であることが確認されたヘルメット。

貼付位置：ヘルメットの側面、または背面に、ご自身で貼り付けてください。

有効期間：2026年シーズン終了まで有効。

側面



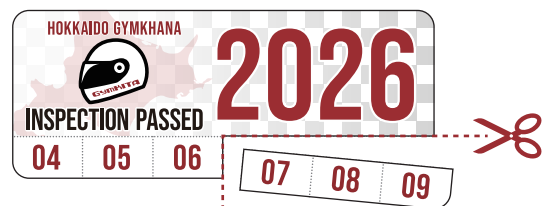
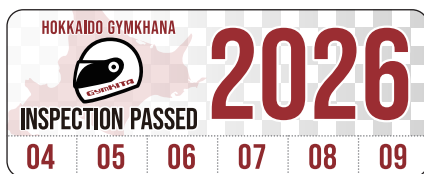
背面



■有効期限のリマインド

ステッカー下段の数字は「有効な月」を示しています。

シーズン中に期限が切れる場合、期限が切れる月の“前月”までの数字を残してカットします。



運用例：7月中に有効期限が切れるヘルメットの場合

「06」までを残し、「07」以降を切り落として配布します。

これにより、7月開催の大会では「07の表示がない＝今月中に期限が切れる可能性がある」と判断し、オフィシャルが正確な製造年月日を再確認します。選手自身にとっても、更新時期のリマインドとなります。

■注意事項

- ⚠ 本ステッカーはJMRC北海道が公式に性能を証明するものではなく、あくまで「車検効率化のための目印」です。
- ⚠ ステッカーの有無に関わらず、著しい損傷が認められる場合は詳細な検査を行います。
- ⚠ 強い衝撃を受けたヘルメットは、ステッカーの有無に関わらず使用を控えてください。